

**東海テレビ制作の2作品が
『第52回ギャラクシー賞』
CM部門で大賞受賞 テレビ部門で選奨受賞！**

<CM部門>

公共キャンペーン・スポット

「震災から3年～伝えつづける～」

<テレビ部門>

ヤクザと憲法～暴力団対策法から20年～

ドラマやドキュメンタリーなど、優れた放送作品や関係者に贈られる「第52回ギャラクシー賞」の贈賞式が6月2日(火)、東京都内で行われ、東海テレビが制作した2作品のうち、CM部門では『公共キャンペーン・スポット「震災から3年～伝えつづける～」』が大賞を受賞、テレビ部門では、ドキュメンタリー『ヤクザと憲法～暴力団対策法から20年～』が選奨を受賞しました。東海テレビとして、CM部門で大賞を受賞したのは初めてのことです。

「ギャラクシー賞」は、放送批評懇談会が、放送文化の質的向上を目的に1963年に創設した権威ある賞で、テレビ・ラジオ・CM・報道活動の4部門に分かれています。審査は、時代性に優れ、ジャーナリスティックな感覚を持ちえていること、かつ作品として普遍的な力量を備えていることが主な基準となっています。

今回は、昨年4月1日から今年3月31日までに放送された応募作品を対象に選考されました。そのうち、上期選考会(昨年10月)と下期選考会(今年4月)などで選ばれた入賞作品の中から、最終選考会で大賞、優秀賞、選奨などが選ばれます。

テレビ部門では、332作品の中から、14作品が入賞作品として選ばれ、最終選考会で大賞1作品、優秀賞3作品、選奨10作品が選ばれました。

またCM部門では、268作品の中から13品が入賞作品として選ばれ、最終選考会で、大賞1作品、優秀賞3作品、選奨9作品が発表されました。

大賞を受賞した公共キャンペーン・スポット「震災から3年～伝えつづける～」(2014年5月27日放送)は、東日本大震災から3年が経ち、報道は何をどう伝えるべきなのか震災報道の現状にカメラを向け、“伝える側の課題”やメディアに課せられた“伝えつづける使命”を表現したキャンペーン・スポットCMです。

プロデューサーの土方宏史は、「震災の取材班をさらに別のカメラが追いかけるという設定。初めての試みだっただけに、見ている人に伝わるかと不安でしたが、評価してもらえて光栄です。メディアは震災を本当に伝えているのか、自分たちの都合のいいように切り取ってはいないか…普段テレビに映ることのない「カメラのこちら側」をさらけ出すことで、現場の葛藤を視聴者に伝えることができ、また我々取材する側にとっても自分たちの姿を見つめなおす良い機会になりました」とコメントしています。

また、選奨を受賞したドキュメンタリー「ヤクザと憲法～暴力団対策法から 20 年～」(2015年 3月 30日(月) 24:35～放送)は、暴力団対策法が施行されてから、ほとんど描かれることのなかったヤクザの姿を映し出しながら、ヤクザへの徹底的な排除と、「すべての国民は差別されない」という憲法について考えていく作品です。

プロデューサーの阿武野勝彦は、「題材が題材だけに、取材はどうなるか、放送はできるのか、反響はどうなるのか、これまでの番組の中で最も予測不能でした。今回のギャラクシー賞の選奨受賞も、思いもよらないもので、まさに制作者冥利に尽きます。放送局のやるべき仕事とは何かを考えてきましたが、この番組は、キワモノではなく、放送局としてド真ん中の表現として取り組んだので、広く観ていただくチャンスが広がることを願っています」とコメントしています。

【CM部門】

公共キャンペーン・スポット「震災から3年～伝えつづける～」

(作品の内容)

東日本大震災の報道取材班に同行し、メディアが被災地で遭遇する人や光景とどのように向き合うかを取材した。

被災者から想定のコメントを引き出そうとする若手記者の姿や、被災地の何を伝えるべきか葛藤するベテランカメラマンなど、スタッフの「素」をありのままに写し出すことで“震災報道のあり方”と“伝え続ける使命”を表現した。

<放送日時> 2014年5月27日(火)

<プロデューサー> 土方 宏史

<クリエイティブライター> 都築 徹

<ディレクター> 清水 淳之介

<取材> 鈴木 祐司

<撮 影> 中根 芳樹
<音 声> 野瀬 貴弘
<編 集> 高見 順
<音 響 効 果> 久保田 吉根
<T K> 河合 舞

【テレビ部門】

ヤクザと憲法～暴力団対策法から 20 年～

(作品の内容)

大阪の指定暴力団東組清勇会は「ケンカの東」と呼ばれてきた組織で、会長も殺人罪で22年の服役をしている。この清勇会の様子からヤクザ者の今を描く。また、30年にわたって山口組顧問弁護士をしてきたが、自らが被告となった裁判に疲れ果てている山之内弁護士の姿にも迫る。いづれも衰退していく暴力団の姿が垣間見えるが、一方で、ヤクザが「人権を守れ」と叫んでいる現実がある。暴対法以降、ほとんど描かれることのなかったヤクザの姿を映し出しながら、ヤクザへの徹底的な排除と、「すべての国民は差別されない」という憲法について考えていく。

<放送日時> 2015年 3月 30日(月) 24:35 ～ 26:05
<ナレーション> 藤本 晶子
<プロデューサー> 阿武野 勝彦
<ディレクター> 土方 宏史
<撮 影> 中根 芳樹
<編 集> 山本 哲二
<効 果> 久保田 吉根
<音 楽> 村井 秀清
<T K> 河合 舞

以上